

監査品質に関する
報告書
2022







Fairness

Diversity

Quality

& Value

Contents

1	理事長メッセージ	4
2	八重洲監査法人の特長	5
3	ガバナンス体制	6
4	品質管理体制	8
5	監査品質の指標 (AQI) 概要	10
6	外部レビュー等の状況	13
7	クライアント名	14
8	法人概要	15

1 理事長メッセージ

Philosophy

新たな監査価値の創造へ

～ 会計監査の深層と新たな価値創造 ～

デジタルイノベーションの進捗は、産業の基本構造や人びとの働き方、日々の生活にも大きな変革と進化をもたらしました。

しかし新型コロナウイルス感染の長期化に加えて、ウクライナ危機勃発に起因する既存国際秩序の崩壊や資源・食糧供給の不安定化などが起こり、今や世界は近年にない混沌と不確実性に直面しています。

フェイクニュースやプロパガンダを含む過剰な情報がデジタル空間を行き交う昨今ですが、このような時代だからこそ、信頼性ある財務情報を識別、保証する社会インフラとしての会計監査の役割には、ますます重要度が増していくと私は考えています。

監査制度をめぐる近年の動きとしては、ISQM1、ISQM2、ISA220 より構成される新しい監査品質マネジメント基準が国際監査・保証基準審議会（IAASB）から公表され、我が国でも導入準備が進められています。

八重洲監査法人においても、国際的ネットワークであるクレストン・グローバルの一員として、2021年6月から所内ISQMプロジェクトチームによる協議と検討を重ね、2022年12月、ISQMベースの新たな「八重洲監査法人品質マネジメントマニュアル」の導入にいたしました。

より社会から信頼される監査体制の構築に向けて、私たちは地道な努力を続けます。

さて、更なる高度デジタル化、AI化が進展する近未来社会においても、組織の普遍的価値は個々の「人」と良好なチームワークにあると信じて疑いません。

私たち八重洲監査法人ではグローバルな視点も取り入れながら、パートナーそしてスタッフ1人ひとりの人間性、専門性、多様性を重視し、健全で風通しのよい組織づくりと新たな監査価値の創造へ向けて、一丸となって取り組んでまいります。

八重洲監査法人 理事長 **齋藤 勉**



2 八重洲監査法人の特長

Culture



自律した専門家によって構成されるフラットなチーム体制と、真摯に対話を重ねる監査スタイル。
八重洲監査法人では 1969 年の設立以来、監査の基本である「コミュニケーション」を第一に、クライアントの組織や風土を深く理解するよう努めてきました。

海外展開を進めるクライアントの監査ニーズに応えるため、2012 年には英国のクレストン・グローバル（Kreston Global）とのメンバーシップ契約を締結。世界 110 か国超をつなぐネットワークの一員としてますます国際化・複雑化・深化する会計制度にも的確に対応しています。

公正性はもちろん、規模や実情にかなった柔軟で合理的な監査のために。
何よりも資本市場の重要なインフラの一翼として、常に社会に貢献するために。

八重洲監査法人では一人ひとりの人間性、
専門性そして多様性を尊重し、
監査法人としての付加価値を高め続けていきます。

3 ガバナンス体制

Governance

八重洲監査法人では、大規模監査法人を想定した有限責任制度をあえて採用せず、監査パートナー全員が無限責任社員となりその相互監視・相互牽制により業務運営の適正化をはかる本来のパートナーシップ型法人運営形態を継続しております。

また監査業務執行と経営・監視機能とは人的に分離せず、表裏一体の運営を心掛け、公認会計士である無限責任社員（監査パートナー）以外の者が監査証明業務の執行に不当な影響を及ぼすことを排除しております。

大規模組織において求められる経営陣のリーダーシップによるトップダウン型経営とは異なり、無限責任社員（監査パートナー）15名全員による合議制の意思決定に基づくガバナンス運営を行っており、現状の人員組織規模においてはその実効性確保は可能と判断しております。

そのため組織規模の無原則な拡大を避け、無限責任監査法人としての適正規模での維持・成長を基本原則としております。

無限責任社員（監査パートナー）15名全員により構成される法人社員会の他、法人内に合議体の品質管理委員会、審査委員会を設け、年間数十回の会議開催を通じて、監査水準の品質向上と監査意見の公正性確保をはかっております。個別の問題事案が生じた場合には各委員会開催による迅速な問題解決に注力しております。

法人としての財務的基盤の安定も監査意見の公正性・独立性確保のため極めて重要と考えています。

そのため十分な自己資本比率の充実・維持と、特定関与先への過度な報酬依存度の回避、公認会計士職業賠償責任保険の最高額契約の方針を継続しております。

当法人は、保有する個人情報に関して適用される日本の法令、その他規範を遵守するとともに、本ポリシーの内容を適宜見直し、その改善に努めます。

安定的な人的信頼関係に基礎をおいたパートナーシップ形態ではありますが、同質的・閉鎖的になりがちな組織運営を避けるため、一人ひとりの人間性、専門性そして多様性に配慮したパートナー選任を重視しています。

現在の監査スタッフ（専門職員）の全員が次世代を担う監査パートナー候補として考慮されます。

そこで多様なバックグラウンドをもった人材育成のために各人の自主的な選択・履修に基づくCPEの受講や自己啓発の積極支援、法人内全体研修を実施しております。

また監査法人の業務運営に際しては、法人内外との積極的な意見交換や議論を行うため、クレストン・グローバル及びクレストン・ジャパン・グループのネットワーク提携先ファームやその他業務提携先との交流を促進しております。

八重洲監査法人 組織図



Organization

※ 2022 年 12 月に大幅な組織改編を行い、上記の品質管理委員会、審査委員会等を品質マネジメント本部に統合し、新体制をスタートしております

4 品質管理体制

Quality management

当監査法人では、「監査に関する品質管理基準」（2005 年 10 月 28 日企業会計審議会）等に準拠して、職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制を整備・運用してまいりました。

監査業務の品質を適切に保つために品質管理規程及び監査マニュアルを策定し、監査業務が同規程及び同マニュアルに従って適切に実施していることを確保するための施策を講じています。



新たな監査品質マネジメント基準への対応

2020 年 12 月、国際監査・保証基準審議会（IAASB）から ISQM1、ISQM2、ISA220 より構成される新しい国際的監査品質マネジメント基準が公表されました。

八重洲監査法人においても、ISQM プロジェクトチームを組成し、2021 年 7 月以降クレストン本部のサポートも利用しながら月次会議での検討を重ね、今般 2022 年 12 月、新たな「八重洲監査法人品質マネジメントマニュアル」の導入に至りました。

監査水準の相対的同質化・均質化を志向した従来型の品質管理から、八重洲監査法人の組織風土やスケーラビリティ、個々の監査チームや構成員の特性をより深く考慮したリスクベースの品質マネジメント体制への移行を主眼としています。

これに対応して 2022 年 12 月に組織改編を行い、従来の監査品質管理に関する諸業務を担っていた各部署を品質マネジメント本部に統合し、新体制をスタートしました。

品質マネジメントマニュアル

八重洲監査法人は2022年12月、ISQMベースの新しい品質マネジメントマニュアルの運用をスタートしました。



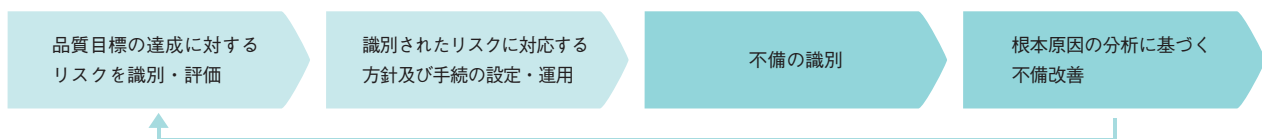
ISQM 導入後の監査品質マネジメント

監査事務所のリスク評価プロセス

より具体的に規定された項目について当監査法人として品質目標を設定



モニタリング及び改善プロセス



従来型品質管理体制からの変更点

従来型

- ・職業倫理・独立性
 - ・契約の新規の締結及び更新
 - ・業務の実施など
- 監査事務所が、構成要素ごとに方針と手続を定め、その運用状況を確認

ISQM

監査事務所が、品質目標の達成を阻害する品質リスクを識別・評価し、当該リスクに対応する方針・手続を定め、運用し、不備があれば根本原因分析に基づき改善（品質マネジメントシステムの導入）

総括

ISQM に定めるリスク・ベース・アプローチの考え方に基づいて、当監査法人の組織風土をふまえた新たな品質マネジメントシステムをデザイン、監査品質のさらなる向上をめざす

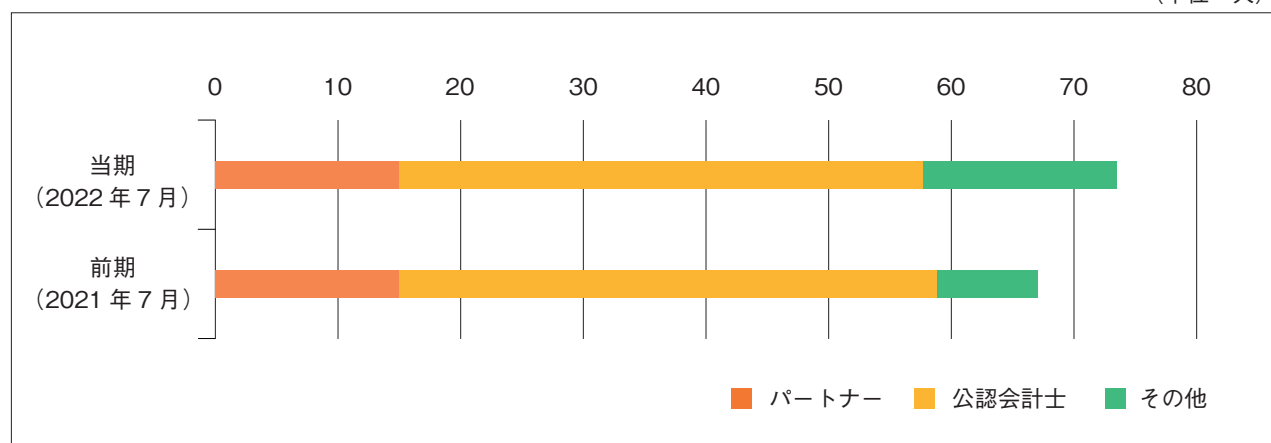
5 監査品質の指標 (AQI) 概要 ①～③

Audit Quality Indicator

① 【社員及び専門職員の職位ごとの人員数・構成割合】

職位	2021 年 7 月 1 日現在				2022 年 7 月 1 日現在			
	人員数 (内、女性)	構成割合 (内、女性)	平均 経験年数	平均 在職年数	人員数 (内、女性)	構成割合 (内、女性)	平均 経験年数	平均 在職年数
パートナー	15 人 (2) 人	22.4% (3.2) %	21 年	17 年	15 人 (2) 人	20.5% (2.7) %	22 年	18 年
公認会計士	44 人 (13) 人	65.7% (19.4) %	12 年	6 年	43 人 (13) 人	58.9% (17.8) %	13 年	6 年
その他	8 人 (1) 人	11.9% (1.5) %	3 年	2 年	15 人 (2) 人	20.5% (2.7) %	2 年	1 年
合計	67 人 (16) 人	100.0% (23.9) %			73 人 (17) 人	100.0% (23.3) %		

(単位：人)



八重洲監査法人では、会計監査に関する知見・経験を十分に有した公認会計士を監査現場に配置しております。
また、各職位に占める女性が占める割合は上表のとおりであり、

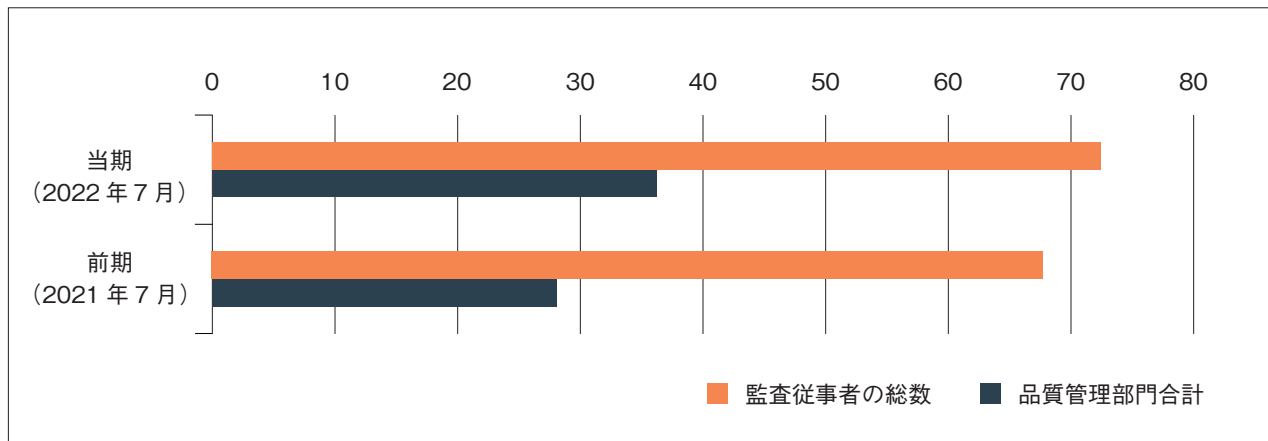
女性の活躍推進は、八重洲監査法人の持続的成長のために必要不可欠であると認識しております。
女性の活躍しやすい環境下にあると考えております。

② 【品質管理業務従事者の人員数及び監査業務実施者に対する割合】

(単位：人)

品質管理部門（機能）	2021 年 7 月 1 日現在	2022 年 7 月 1 日現在
独立性・職業倫理の管理	9	14
リスク管理・定期的検証等の監視活動		
会計の専門的見解の問合せへの対応		
監査の専門的見解の問合せへの対応		
審査	19	22
品質管理部門合計	28	36
監査従事者の総数	67	73
比率	41.7%	49.3%

(単位：人)



八重洲監査法人では、法人全体として一貫した監査品質水準を維持するために、監査マニュアルの整備・及び監査ツールの開発等を通じて、監査品質の更なる向上を図っております。

③ 【監査業務に従事する常勤の社員及び専門職員の作業負荷の状況】（上場会社に限る）

監査業務に従事する業務執行社員または主査が担当している一人当たりの平均被監査会社数は、それぞれ、2.3 社（前年度 3.0 社）、1.0 社（前年度 1.0 社）であります。

（単位：社）

摘要	2021 年 6 月 30 日現在		2022 年 6 月 30 日現在	
	業務執行社員	主査	業務執行社員	主査
1 人当たりの平均被監査会社数	3.0	1.0	2.3	1.0

八重洲監査法人では、監査品質水準を維持するため、担当する被監査会社（クライアント）を絞り込み、ビジネスを理解し、監査上の留意点を把握することに重点を置いております。

【職位別の C P E 取得義務達成率】

（単位：%）

摘要	2020 年 7 月 1 日～2021 年 6 月 30 日		2021 年 7 月 1 日～2022 年 6 月 30 日	
	業務執行社員	主査	業務執行社員	主査
C P E 取得義務達成率	100.0	100.0	100.0	100.0

八重洲監査法人では、職業的専門家として、監査業務能力の維持・向上を図るため、CPE取得を実施しており、CPE取得義務達成率は 100%であります。

※CPE（継続的専門研修 Continuing Professional Education）制度は、日本公認会計協会が会員に義務付けている研修制度。3 年で合計 120 単位以上の履修義務があり、1 単位は研修時間概ね 1 時間。

【独立性の遵守状況】

	2020 年 7 月 1 日～2021 年 6 月 30 日	2021 年 7 月 1 日～2022 年 6 月 30 日
独立性に関する年次確認手続の回答率	100.0%	100.0%
認識された違反件数	0 件	0 件

八重洲監査法人では、独立性に関する確認を実施しており、当該違反件数はゼロ件であります。

6 外部レビュー等の状況

External review

【日本公認会計士協会（JICPA）による品質管理レビュー結果】

	2017 年レビュー	2020 年レビュー
直近の品質管理レビュー報告書及び改善勧告書の日付	2018/3/7	2021/3/3
フォローアップ・レビュー報告書の日付	2019/2/13	—
品質管理レビューの実施結果	限定事項のない結論	重要な不備事項のない実施結果
品質管理レビュー制度上の措置	品質管理レビュー制度上の措置は受けておりません	品質管理レビュー制度上の措置は受けておりません
上場会社監査事務所登録制度上の措置	上場会社監査事務所登録制度上の措置は受けておりません	上場会社監査事務所登録制度上の措置は受けておりません
監査事務所における品質管理に関する極めて重要な不備事項、重要な不備事項又は不備事項の有無並びに当該事項がある場合にあってはその内容の要約及び監査事務所の対応	監査事務所における品質管理に関する限定事項及び改善勧告事項はありません	監査事務所における品質管理に関する極めて重要な不備事項、重要な不備事項又は不備事項はありません

【法人内部で実施した検証（定期的な検証）結果】

	2021 年 6 月 30 日時点	2022 年 6 月 30 日時点
内部検証の対象範囲に含まれる件数	74	66
当期において内部検証を実施した件数	28	24
当期において内部検証を実施した割合	37.8%	36.4%
内、重要な不備事項がなかった監査業務の割合	100.0%	100.0%

注）検証範囲及びその決定方法

- …計画（3 年間で一巡するローテーション）に基づき法定監査及び規模の大きい任意監査のクライアントについて実施
- ・検証方法
 - …監査調書のレビュー及び業務執行社員等へのヒアリング
- ・重点検証項目
 - …対象会社等の重点項目を中心とした監査手続実施状況及び調書作成状況の検討

7 クライアント名 (2022 年 7 月現在)

Clients

日本冶金工業株式会社	ラサ商事株式会社	浜井産業株式会社
日本紙パルプ商事株式会社	川岸工業株式会社	高橋カーテンウォール工業株式会社
株式会社富士通ゼネラル	武蔵野興業株式会社	杉田エース株式会社
日産化学株式会社	昭和化学工業株式会社	日本総合住生活株式会社
セントラル硝子株式会社	リスクモンスター株式会社	

(2022 年 7 月現在 大会社等[※]のみクライアント名記載)

※大会社等とは公認会計士法第 24 条の 2 に規定する法人その他団体をいい、主として上場会社や資本金 100 億円以上の非上場会社等が含まれます。

【その他のクライアント数】

その他の会社法監査……13 社
 私立学校振興助成法監査……2 法人
 労働組合法等監査……2 組合
 生活協同組合及び生活協同組合連合会監査……19 法人
 公法人・公益法人等監査……8 法人
 社会福祉法人監査……1 法人
 その他の任意監査等……10 社



8 法人概要

Profile



法人名 八重洲監査法人

理事長 齋藤 勉

設立 1969 年 12 月 15 日

人員 公認会計士（パートナー）15 名
公認会計士（スタッフ）43 名
監査補助職員（スタッフ）15 名
その他 3 名
合計 76 名（2022 年 7 月現在）

事業所 〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-12
紀尾井町ビル 17 階
TEL : (03)5275-5260 / FAX : (03)5275-5262



